

令和3年10月11日

一般社団法人日本産業技術教育学会 技術教育分科会主催

## チュートリアル実施要項骨子

技術教育分科会

### 1. 趣旨

一般社団法人日本産業技術教育学会では、今後正会員Bを増やして学会の活性化を図ろうとしている。正会員Bの多くは教育現場の先生方であり、豊富な実践経験を有している方が多い。一方で、技術教育分科会へ参加している会員からのアンケートでは、実践を論文としてまとめる手法について学びたいと考えているニーズがあると認識された。

もとより、学会にとって論文誌の質向上は重要なことである。また、近年の動向として、教育データ活用にかかるリテラシーは学校教育の教員としての基礎的な資質・能力となりつつあることから、論文作成や教育データサイエンスのチュートリアルを開催するものである。

なお、本件については、令和3年8月に開催された全国大会時の技術教育分科会においても了承されている。

### 2. 内容構成

- (1) シリーズ A –論文の書き方, 研究の進め方–
- (2) シリーズ B –初学者向け データ分析の基礎–
- (3) シリーズ C –経験者向け 教育データサイエンス–

### 3. 実施について

- (1) 特に2(1)(3)については、論文業績の豊富な方を講師として依頼する。
- (2) 12月の定例技術教育教育分科会、今後特設の勉強会に位置づける。
- (3) 内容構成に示したものはおよそのものであり、実施詳細は講師の方等と検討する。